長年培われた教諭のノウハウと保護者の熱い思いに支えられ、
健常児も障害児も一緒にのびのび育つ幼稚園！

横須賀市立 諏訪幼稚園

横須賀のバリアフリー子育て情報局
sukasuka-ippo
http://www.sukasuka-ippo.com
発行責任者 / 五本木 愛　編集 / 竹島

園バス、お預かり、給食、制服…全てありません。一見、ないない尽くしでおまけに２年保育の諏訪幼稚園ですが、保護者のみなさんが口を揃えてアピールするのは、諏訪幼稚園が長年、そのノウハウを築いてきた年間カリキュラムを通して子どもの自主性を尊重した活動への信頼です。そして、障害児を受け入れてくれる幼稚園の数がまだ十分でない現状の中で、我々、障害児を育てる親が注目するのは、今現在３名の障害児が通う諏訪幼稚園の障害児の併行通園先としての在り方。紙面版ではダイジェストでお届けします。

・。障害児の併行通園に不可欠な園同士の連携・。・。

■ 娘はダウン症、年中から諏訪幼稚園の併行通園開始

娘はひまわり園と諏訪幼稚園の併行通園をしているダウン症の年中です。年少の頃は、ひまわり園とデイサービスで過ごし、年中からは幼稚園も体験させてあげたいなぁ、と幼稚園を探していました。補助の先生が付いてくれる少人数の幼稚園を探していましたが、私立の幼稚園ではなかなか条件に合う幼稚園がありませんでした。ひまわり園で先輩ママのお話を聞くピアカウンセリングに参加した時のこと、たまたま諏訪幼稚園の卒園児ママさんの話を聞くことができて「ココだ！」と、すぐに電話しました。

■「うちの子も入れてもらえますか？」その返事に涙…

見学の申し込みの際、諏訪幼稚園に電話をし、「うちの子はダウン症なんですが」と言うと、名前を聞くのと同じトーンで「どんな支援が必要ですか？」と質問されました。そして、「うちの子も入れてもらえますか？」と聞いた際は「なんでそんなこと聞くんですか？」と言われ、思わず涙が出てしまいました。

■ 少人数のクラスで手厚い支援

現在、娘が通う年中のクラスは 10 数人で、必ず補助の先生が娘の横に付いていてくれます。

送迎時には先生とお話しして、「今日はこんなことをして、こんなことができました！」って教えてもらっています。
たまにお友達から、「こんなことできるんだよ！」と教えてもらうこともあります。

■隣にはひまわり園、先生同士の連携に感謝

また、諏訪幼稚園は立地的に、娘が通っているひまわり園と隣接しているという利点があります。

例えば、体の小さな娘用には椅子の足置き台があると良いとひまわり園の先生が見本を持ってきてくれました。それを見て、すぐに幼稚園でも同様のものを作ってくれました。

■ 親の卑屈な気持ちを優しくたしなめられたことも…

また卑屈になりがちな私の気持ちを諏訪幼稚園の先生に優しくたしなめられて、ハッとしたこともあります。うちの子の理解力やスピードや器用さは他の子と比べるまでもありません。でも、みんなと一緒に楽しく過ごしています。うちの子もお友だちも、どの子もみんないい子なんだよって思えるようになりました。

■横須賀市立諏訪幼稚園の基本情報

〒238-0004 横須賀市小川町 18 番地
TEL / 046-824-7579　FAX/ 046-813-7001
mail/ admini@suwa-k.yknet.ed.jp
園の活動風景を園長先生が随時アップ！HPでご覧いただけます！
http://schoolnet.edu.city.yokosuka.kanagawa.jp/schoolnet/kindergarten/261suwa/
定員 / 年中 25 名・年長 25 名
（2016.07 現在、定員に空きがあるため随時受付中）
障害児受け入れ / あり（2016.07 現在 3 名在籍）
開園時間 / 平日 09：00 ～ 14：00（通常 15:00 まで園庭を開放）
費用 / 入園料 8,000 円、月額 11,000 円、保護者会費 1,200 円 / 年他
次年度の園児募集要項は 2016 年 10 月中旬以降に配布予定です！

・。1日の流れ［諏訪幼稚園のある１日］・。

09:00　登園 (出席シール貼り・着替え)
09:30　朝の会（年長さん・年中さん合同）
10:00　活動（交流や遠足など活動のバラエティは豊富）
11:50　お弁当
13:00　自由遊び
13:30　お片付け・掃除・着替え
13:45　帰りの会
14:00　さようなら
14:00-15:00　園庭開放

毎日使う場所は自分たちの手できれいに！
毎日、プレイルームと下駄箱を雑巾で掃除します。

▼ 併設する諏訪小学校との交流がさかん！合同の運動会をはじめ、季節の行事に参加したり、夏は諏訪小学校のプールで遊んだり、年に数回、諏訪小学校の給食を体験をしたり…。休み時間には小学生が遊びにきます
▼その他、児童図書館に本を借りに行ったり、 ヴェルニー公園までお散歩したり、楽しい活動が盛りだくさんです！

・。障害児の併行通園先としての諏訪幼稚園・。・。

■自閉症のチビ助５歳、年長から併行通園開始

ひまわり園に週５回通っていた年中の夏過ぎから言葉が出始めたチビ助。同年代の子どもたちへの関心も出てきたので、年長から併行通園をすることに…。ここで悩んだのは、さてどんな幼稚園がよいだろう。どこの幼稚園が受け入れてくれるだろう。

■親が送迎？でものびのびした園の雰囲気、ここに決めた！

情報は決して多くありませんでした。そんな中、選択肢に上がったのがこの諏訪幼稚園。園バスがない、お預かりもない…と、条件だけみると、正直、親の負担ばかりが想像できて気が滅入る。でも、まずは見学だけでもと園を訪問し、園長先生と話をしたら、平仮名指導はやりません。遊びを通して学ぶ。人との関わりを大切に。小・中学生や地域と積極的に交流する。そう、一言でいうとのびのび！一緒に来ていたチビ助もホールで始まった朝の会に飛び入りで参加し、一緒にダンス！その場で心が決まりました。

■入るまで見えない障害児と園との相性。初期費用も安心！

障害児の場合、幼稚園との相性や園の雰囲気になじめるのか、活動についていけるのか…実際に園生活が始まるまでそのあたりは読めないという不安があります。そこで、やはり気になるのは、入園料や初期費用。諏訪幼稚園の入園料は 8,000 円（2016.07 現在）で、こまごまとした道具をそろえる必要はありますが制服などの大きな初期費用が要らないというのも年長から入園する障害児にとってはありがたかったです。

■通い始めて４ヵ月。みんなと自然に関われているチビ助

入園前に懸念していた電車での送迎の負担は今、ほとんど感じません。意思疎通がまだ十分ではないチビ助の園での様子は、先生が細かく伝えてくれて、問題行動には一緒に対策を考え、時にはひまわり園の担任の先生が幼稚園を訪問して障害児への支援について情報交換してくれているのも安心。園に行くと、お世話好きの女子がチビ助の手を引いてくれたり、遊びに誘ったりしてくれます。チビ助は諏訪幼稚園が大好きです。もちろん私も！